

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成28年05月12日

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）			⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
27年度実績 児童発達支援51名（真岡43名、茂木1名、益子5名、芳賀1名、市貝1名） 〔申請方法〕サービスの支給申請 本人状況調査 支給量（日数）決定 受給者証交付 利用申込 保護者が施設（事業者）と契約 利用開始			名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
			ア センター利用申請者数（児童デイ）	人	44	-	-	-	-
			イ センター利用申請者数（児童発達支援）	人	-	44	49	51	51
			ウ センター利用申請者数（放課後等デイサービス）	人	-	25	27	28	28
			エ						
			オ						
28年度計画 前年度と同様			⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 芳賀都市内障がい児（小学生以下）とその保護者			名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
			ア 芳賀都市内知的障がい児数（小学生以下）	人	180	-	-	-	-
			イ 芳賀都市内知的障がい児数（未就学児）	人	-	57	56	70	70
			ウ 芳賀都市内知的障がい児数（18歳以下）	人	-	349	378	386	388
			エ						
			オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 障がい児が運動機能等を向上するとともに、生活習慣を習得する。 保護者に対して、アドバイスと心理的な支援を行う。			⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
			名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
			ア センター利用者数（児童デイ）	人	44	-	-	-	-
			イ センター利用者数（児童発達支援）	人	-	44	49	51	51
			ウ センター利用者数（放課後等デイサービス）	人	-	25	27	28	28
			エ						
			オ						
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 精神的、身体的、経済的に自立してもらう。 積極的に社会参加をしてもらう。			⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
			名称	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
			ア 生活習慣等が向上した利用者の割合	%	100	100	100	100	100
			イ						
			ウ						
			エ						
			オ						
(2) 総事業費の推移			単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	
投 入 量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	16,335	16,366	16,795	16,783	15,183	
		一般財源	千円	2,059	3,034	4,952	4,256	9,024	
	事業費計（A）		千円	18,394	19,400	21,747	21,039	24,207	
人 件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
	延べ業務時間	時間	25	25	25	25	25		
	人件費計（B）	千円	105	102	106	105	105		
トータルコスト(A)+(B)			千円	18,499	19,502	21,853	21,144	24,312	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①この事務事業を開始したきっかけは何か？いつごろどんな経緯で開始されたのか。			障がいをもった児童に対する療育訓練を実施するため、昭和51年10月開始						
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？			当初は、母子通園ホームとして発足。障がい児を持った親子が訓練を受けることにより障がいの軽減や親の心理的負担の軽減を目指した。平成15年4月の支援費制度のスタートにより、児童デイサービスとして事業所指定を受けた。平成18年4月の障害者自立支援法の施行により、児童デイサービスとして事業所指定を受けた。平成23年度に旧コンピュータカレッジ施設の一部を改修し、平成24年4月に移転した。平成25年4月から、「障害者自立支援法」が「障害者総合支援法」となった。同時に、名称が「心身障害児通園ホーム」から「こども発達支援センター」となり、「児童デイサービス」事業所から、「児童発達支援」及び「放課後等デイサービス」事業所に移行した。						
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？									

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障がいを持った児童に対し、就学前から訓練を実施することは障がい児の自立と社会参加の支援に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障害者総合支援法に定められているので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 障害者総合支援法に定められているので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 障害者総合支援法に基づく該当者は、全員入園して適切な訓練を受けているので向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 障害者総合支援法に定められているので、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 障害者総合支援法に基づいて実施しているので、削減の余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人員で事務処理をしているので、削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障害者総合支援法に定められているので、公平・公正である。

## 3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し ( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？	(3) 改革・改善による期待成果  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合  <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(2) 2次評価者としての評価結果  <table border="1"> <tr> <td>①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td><td>②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td><td>④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> </table>	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持																												
	低下																												
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																													
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																													